

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
さゆり会 ひまわりルーム		R7年 3月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定義や発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		発達支援室より広いスペースで活動を提供しています。また、発達障がい児が集中して活動できるように、自然物も取り入れた環境を整えています。	
	2 利用定義やこどもの状態等に対して、職員の状態は適切であるか。	○			職員の状態等について定期的に自己評価を行い、必要に応じて研修や相談を行っています。
	3 生活空間は、こどもがわかりやすく快適化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設の状態により、同一時期でも使用する部屋が増えた。	経時的な変化は把握できているが、大きな変化があったり、今後の改善が必要
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除の時間を設けている。感染症予防に関する研修や訓練を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		3月末の面談前に職員で振り返りの機会を設けている	今後、保護者評価を記入してもらう際に、「どちらでもない」「いいえ」とは、職員が気づいて「この点、職員も聞いていなければいけない」と認識すること、より具体的な業務改善のニーズが分かるのではないか
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	こども医療福祉センターや言語聴覚士による技術支援を受けていますが、外部評価は受けていない	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内、センター内ともに研修を実施しています	より積極的に保護者へ告知していく
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		R6、10月よりHPにて公表しています	より積極的に保護者へ告知していく
	12 様々なこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達支援計画を作成しているか。	○		発達検査等の客観的なツールも活用しながら、分析を行っています	
	13 発達支援計画を作成する際には、発達支援支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援センターや言語聴覚士による技術支援を受けていますが、外部評価は受けていない	
	14 発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			出来上がった後の職員への周知をもっと積極的に
	15 こどもの適切な行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを用いるなどにより確認しているか。	○		標準化されたツールを活用している	より積極的に保護者へ告知していく
	16 発達支援計画には、発達支援ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらわらび支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			より積極的に保護者へ告知していく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動後の記録、プログラムの立案はチームで行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		基本のプログラムの流れがあり、そこに対象児に合った活動を組み込んでいく形をとっている	基本は大切にしつつ、児童に合わせて流れを変えたり、内容を充実させて、子どもたちが「お母さんたちの」心が強くなるような療育を提供していく
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせる発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に職員全員で打ち合わせをします	
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか。	○		支援後に開いた職員全員で記録・カンファレンスを行います	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録をとり、振り返り、活動の立案、個別支援計画作成などのときに見返します	
	23 定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しを必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24 療育児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、就労等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		発達障害、非3部会の連携カンファレンス 発達所発注型支援 ことば支援とも日常から連携しています	
	26 移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行に向けて、地域の情報の提供、協力を進めています。また、移行先の園とも情報共有を行っています	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		五市町教育委員会の就学相談を活用して、相談員と情報共有をし、就学に向けて、一緒に準備をサポートします。また、個別移行サポートプログラムの作成し、就学へつなげる準備をしています	もっと積極的に連携を図ってきたい
	28 (28～30は、センターのみ回答)				
	29 地域の他の発達支援センターや発達支援事業所等と連携をとり、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	○			
	30 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部の言語聴覚士による研修会の実施、eラーニングの活用、事業所内研修会の実施などを行っています	来年度はこども医療福祉センターの技術支援も受ける予定です
31 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会、こども支援部会に参加しています	来年度も継続して、参加します
保護者への説明等	32 (31は、事業所のみ回答)				
	33 地域の発達支援センターとの連携をとり、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。				
	34 保護者や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	35 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
	36 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
	37 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	38 発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の観点から適切な配慮を踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		今年度から契約のときのアセスメントやアンケートの作成を本人やご家族の意向によりわかりやすくするように変更しました	面談でのアセスメント様式を変更し、それぞれ変更、改善していきたいと思えます
	39 「発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から発達支援計画の同意を得ているか。	○		新しい様式となり、説明に手際よくすることがあります。様式や内容を少しずつ修正し、保護者にわかりやすくするように改善しています	引き続き、修正しながら、改善していく必要が
	40 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談時間を設けている	十分でない、いつでも受け付けているが、相談しにくいと感じる場合がある
	41 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		イベントにはご家族も参加できるようにしており、その場交流も促している	十分でない、時間の確保や機会を設ける必要がある
42 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		定期的な面談時間を設けている	十分でない、いつでも受け付けているが、相談しにくいと感じる場合がある	
43 定期的に連絡等を行うことや、HP/PSNS等を活用することにより、活動履歴や予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSやHP、LINEなどを活用し、イベントの告知、活動の様子などを発信している	十分でない	
44 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			十分でない、自分ひとり前と誤って対応してしまったり、勝手に見られている	
45 関連のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
46 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	○		関係人とのこども園の開催には、イベントで作成したツールで促すようにしている		
非常時等の対応	47 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの作成、研修や訓練も実施している	十分に周知できていない
	48 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		マニュアルの作成、研修や訓練も実施している	十分に周知できていない
	49 事前に、感染や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	○		契約、面談のときに確認している	
	50 食料アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はないが、アレルギーは確認している	
	51 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、窓内外の安全管理に努めている。チェックリストでの定期的な確認を行っている	
	52 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			十分に周知できていない
	53 ビヤハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	○		情報共有し、再発防止に努めている	地域整備も迅速に行っている
	54 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体で研修を行っている	
55 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援計画に記載しているか。	○		対象となる児童は少ないが、研修会等を活用して、学んでいる		